

経験・人脈を活かし 持続的なまちづくりにチャレンジ

にしがき しょうた 西垣 翔太さん (34歳)

= 芳野町 2 =



今回は特別インタビューとして、4月から地域おこし協力隊に就任した西垣さんにお話を伺いました。

西垣さんは、京都府出身で、学生時代に高齢化がすすむ中山間地や商店街でまちづくりに関するフィールドワークを経験し、以降、京都府や東京都などで地域づくりやインバウンド事業（会社を設立）など国内外を視野に活動されています。

▶勝山で活動しようと思ったきっかけは？

これまで地域を活性化させるためのコーディネート活動や地域の魅力を国内外に発信するためのプロモーションなどを行ってき

ました。その中で、これまで培ってきた経験や人脈を活かし、一過性ではなく持続的なまちづくりにチャレンジしたいと考えていました。そんな折、友人で勝山市地域おこし協力隊の太田さんから勝山を紹介してもらいました。

▶今後の活動は？

美しい苔がある平泉寺や越前大仏などの魅力的な素材を活かしたプロモーション活動や若者にとって訪れたい、住んでみたいまちに向けた仕掛けづくりなどに取り組みたいと思っています。そして、市内の活性化はもちろん、都市部や海外から勝山に行ってみたいと感じ、訪ねてくる関係人口の増加を目指し

ていきたいと思っています。

▶勝山に住んでみていかがですか

身近に豊かな自然があり、とてもリラックスできています。外出できない時こそ、自然が近くにあることの素晴らしさを感じています。

現在は、感染症防止対策の関係で活動に制限がありますが、「新しい生活様式」によって生じる、都市部にはない、地方でのプラス面を探しながら活動できたらと思います。

移住に関するお問い合わせは 商工観光・ふるさと創生課 (市役所2階) ☎88-8105

成器堂と遺構「演武寮」(現布市道場) 成器堂は小笠原勝山藩の藩校として、家老林毛川と藩医秦魯齋の尽力で建てられた。天保14年(1843)にこの名称となり、嘉永3年(1850)に楯供養が行われた。その運営には藩からの下米もあつたが、建設費用も含め領内村々の有力者、さらには町の豪商からの寄付金で賄われた。

成器堂には多くの書籍が収蔵され、毛川の蔵書をはじめ献本や購入されたものと合わせて、成器堂文庫として残された。一部県外に流失したものもあるが、医学書も含め漢書・国書を中心に約300冊が残されている。優秀な教授陣とこうした豊富な蔵書で学ぶことにより、成器堂からは勝山の近代を担う多くの人材が輩出した。

成器堂図には講堂や寄宿寮の他、南側道路(大手坂に向かう)に面し、文庫・素読寮・表門・門番所と並び演武寮は一番西側に建っていた。現在その遺構として残るのは、講堂・土蔵・門とここで紹介する演武寮である。

成器堂では素読・習礼・医学講釈と並んで、剣術・槍術も教



昭和40年代後半の演武寮外観(上)と内部の梁の部分

授され、その道場として演武寮が建てられた。余談ながら勝山が生んだ剣道の大家鈴木定七は、藩命により日本一の剣道の大家 斎藤弥九郎の塾に入門し、最優秀で免許皆伝を受け塾頭代を命ぜられた。帰藩後は藩主の指南役となり藩士の指導に当たった。彼の努力により小藩の勝山から剣道の達人が続出した。

演武寮の建物は入母屋造焼き瓦葺きで、小笠原家の家紋である三階菱の瓦が掲げられている。明治12年(1879)の布市区大火で道場が焼失したため、この演武寮を買い取り現在の地に移築、区の集会所や本覚寺布市道場として利用している。昭和47年(1972)勝山市の有形文化財に指定された後、屋根・屋根瓦が破損したため補修し現在に至っている。

地域文化を掘り起こそう 市史編纂室 山田 雄造 38

ウイルス性脳炎、髄膜炎

福井勝山総合病院 脳神経外科部長 中島 毅

令和2年はコロナウイルスの脅威にさらされ、ウイルス感染の恐ろしさを再確認した年です。ウイルス自体はよく聞く言葉ですが、少し深く掘り下げてみましょう。

ウイルスは、世の中で最も小さな生き物です。細胞が1個しかない単細胞生物(多くの細菌)よりもさらに50分の1程度の大きさしかなく、電子顕微鏡でしか観察できません。たんぱく質の殻と、内部に遺伝子しか持たない生き物で、単独では栄養を取り込むことも、増殖することもできません。ほかの生物の細胞(宿主)に入りこんで細胞から栄養をもらい、やっとなんか増えることのできる極めて弱い存在です。しかし、コロナウイルスに治療薬がないように、科学技術の発達した現代においても限られたウイルスに対する治療薬しかないのが現状です。



これを踏まえ、ウイルス性髄膜炎、脳炎のお話です。脳はとても大事な臓器です。体の中で、特に堅牢な防御システムが構築されています。そのため、多くの病原菌はそう簡単には入り込めないので、ウイルスによる脳の感染(当院で年間5件程度)は見かけます。脳細胞にまでウイルスが到達してしま

脳内に入り込む多くのウイルスも治療薬はほとんどありません。しかし、最も感染の多いヘルペスウイルス(水ぼうそうと同じウイルスで、体内に潜み、免疫が弱った時期に活動を活性化し、神経から脳内に到達)には、幸い治療薬があります。

その他、今回のコロナウイルスをはじめ、麻疹ウイルス、おたふくウイルス、日本脳炎ウイルスなども治療薬は存在せず、ワクチン接種、自分の免疫頼みとなり、治療効果が上がらず、重症化しやすいです。

ウイルス髄膜炎、脳炎にならないためにコロナウイルスに準じた予防が重要です。すなわち免疫を高めるために、十分な栄養、休養、運動が必要です。手洗いやうがいも大事です。ワクチン接種のほか、ウイルスとの接触を減らす予防策が必要です。

いきいき★健康長寿

「もの忘れが気になりだした方へ」

コロナ禍で、集まって交流・会話をする機会が減ってきています。もの忘れを予防するためにも、電話などで人との交流をつづけていきましょう。

最近、物忘れが多くなってきた、認知症が心配、という方は、右記のチェック表で一度確認してみましょう。

闘高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センター 「やすらぎ」(すこやか内) ☎87-0900

『勝山市認知症ケアパス』をご活用ください
認知症の心配ごとやお困りごとに応じた主な相談先をまとめたものです。
市ホームページなどでご確認ください。

認知症早期チェック(「はい」か「いいえ」に○)

| No. | 項目 | はい | いいえ |
|-----|-----------------------------------|----|-----|
| ① | バスや電車で1人で外出している | 0 | 1 |
| ② | 日用品の買い物をしている | 0 | 1 |
| ③ | 預貯金の出し入れをしている | 0 | 1 |
| ④ | 自分で電話番号を調べて電話をかけている | 0 | 1 |
| ⑤ | 今日が何月何日かわからない時がある | 1 | 0 |
| ⑥ | すぎだったことや趣味などへの興味や関心がなくなった | 1 | 0 |
| ⑦ | 以前より怒りっぽくなったなど性格が変わったと感じる(そう言われる) | 1 | 0 |

合計点数()点 ⇒合計点数が3点以上かつ⑤~⑦が1点以上の方は、お早めにご相談ください

人口の動き

| | 4月末現在 | 自然動態 | | | 社会動態 | | | 5月末現在 | 月間増減 |
|-----|---------|------|-----|-----|------|-----|-----|---------|------|
| | | 出生 | 死亡 | 計 | 転入 | 転出 | 計 | | |
| 男 | 10,864人 | 3 | -18 | -15 | 7 | -19 | -12 | 10,837人 | -27人 |
| 女 | 11,921人 | 5 | -15 | -10 | 9 | -14 | -5 | 11,906人 | -15人 |
| 合計 | 22,785人 | 8 | -33 | -25 | 16 | -33 | -17 | 22,743人 | -42人 |
| 世帯数 | 7,986世帯 | | | | | | | 7,980世帯 | -6世帯 |

6月の納税

市・県民税▶第1期 納期限▶6月30日(火) 口座振替▶6月26日(金)

交通事故発生状況

| 件数内訳 | 令和2年5月末 | | 前年比 |
|-------------|---------|---------|-----|
| | 令和2年5月末 | 前年比 | |
| 総件数 | 114件 | -52件 | |
| 人身事故(うち高齢者) | 3件(0) | -6件(-2) | |
| 死者(うち高齢者) | 1人(1) | +1件(+1) | |
| 傷者 | 2人 | -7人 | |
| 物損事故 | 111件 | -46件 | |